



中央中だより

【学校教育目標】心豊かに 学び合い たくましく 未来を拓く生徒

『生徒会憲章』の実現を図りながら、
生徒一人一人の自己肯定感を高め、3年計画で自立を促し、未来への志を育む



本年もよろしくお願ひいたします

新しい年を迎え、皆さんにとって令和7年が希望と成長に満ちた一年となることを心よりお祈り申し上げます。普段の何気ない毎日を過ごせていることに感謝しながら、今私たちにできることをしっかり行うことが大切だと感じた年始でした。

今年巳年（蛇年）です。蛇というと怖い印象を持つ方が多いかもしれませんが、実は「再生」「成長」というポジティブなイメージもあります。蛇はゆっくりとしなやかに曲線を描きながら動くことから、変化する環境に柔軟に対応する力を象徴していると言われます。物事を柔軟に考え、周囲の人たちと協力してしなやかに対応する、それが成長につながっていくと考えられます。私たちも学習や部活動等をする中で柔軟性のある考え方を求められることが多くあります。物事を進めていく中で課題に直面したとき、蛇のような柔軟性をもってしなやかに乗り越えていきたいものです。また、蛇は「脱皮」を繰り返し、成長していく生き物でもあります。同じように、私たちも新しい経験や学びを通じて自分を成長させることができます。ときには失敗や困難を経験することもあるでしょうが、それらを新たな挑戦の機会として受け入れることで、自分自身を再生させ、さらに一步前に進むことができることと思います。

以下は再確認です。松下幸之助は次のようなことを生前述べています。「当たり前のことを当たり前にする、を徹底したこと」だそうです。「雨が降れば傘をさす」に代表されるように、ごく当たり前なことを当たり前にするというものばかりです。決して難しいものではありません。では、なぜ多くの人はそれを実行できないのか？ 当たり前なものは当たり前すぎて飛びつきにくいからだそうです。目新しく奇抜な方法ではないため、人はつい「当たり前」を疎かにしてしまうそうです。人は何もなくても①強い気持ちを持ち、②日々地道に愚直（ぐちよく）に当たり前なことを徹底すれば、必ず未来を切り開くことができるという先人の教えです。ここから、学んだこと（感じたこと）は、当たり前という言葉で普通という言葉に置き換えて考えると、「普通（当たり前）のことを普通（当たり前）に行っていれば、普通以上になる。」ということでした。この3学期もいろいろと学べるチャンスがあります。新年を迎えリセットして登校している皆さん、新たなスタートです。

保護者の皆様におかれましては、旧年中は大変お世話になりました。どうぞ、本年も中央中の発展のためにご理解ご協力をお願い申し上げます。

あけまして
おめでとう
ございます